

令和元年5月分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

令和元年5月分について、輸出は「荷役機械」などが減少したものの、「自動車」、「船舶類」などが増加したことから、対前年同月比6.2%の増加となった。また、輸入は「有機化合物」などが減少したものの、「自動車」、「粗鉱物」などが増加したことから、同37.3%の増加となった。

その結果、差引額は1,085億円（同9.7%の減少）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
三河港	1,928億円	+6.2%	843億円	+37.3%	1,085億円	▲9.7%
	5カ月連続の増加		2カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1)自動車	1,823億円	+5.0%	輸入	増加品目	(1)自動車	760億円	+47.2%	
		(2)船舶類	25億円	全増			(2)粗鉱物	5億円	+308.7%	
		(3)鉄鋼	24億円	+72.2%			(3)鉄鋼	27億円	+12.5%	
	減少品目	(1)荷役機械	5億円	▲35.6%		減少品目	(1)有機化合物	3億円	▲47.0%	
		(2)プラスチック	4億円	▲38.2%			(2)魚介類及び同調製品	2億円	▲51.7%	
		(3)石油製品	7億円	▲19.7%			(3)木製建具及び建築用木工品	1億円	▲62.3%	
	地域別動向		北米、中南米が増加、西欧は減少			地域別動向	西欧、北米が増加、アジアは減少			

（参考）ドルレートは、111.07円（前年同月比1.8%、1.99円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。